

授業にドローン学習を取り入れている恵那市明智町の恵那南高校ビジネスと観光系列の3年生17人が、ドローンの民間資格「国土交通省認定操縦士資格」を本年度初めて取得した。
(服部潤)

本校では、地域課題の解決に向けた取り組みとして、同市上矢作町でドローンミュージアムを運営する「ROBOZ(ロボッツ)」の協力で2020年からドローン学習を取り入れている。ロボッツによると、授業で取り組み、民間資格を取得するのは日本初。

本年度、本校では17人が授業を計18回受けて、基本知識からドローンの実技、筆記試験までみっちり学んだ。

認定証の贈呈式が18日、同校で行われ、14人が出席。石田宏樹社長から認定証を受け取った松井希伊智さん(18)は「筆記試験が難しかった。大学に進学して授業で学び国家資格にも挑戦したい。また、串原の中山太鼓やささゆりの湯などを撮り、地元を動画でPRしたい」と喜びを語った。

恵那南高生、17人取得

ドローン操縦、国交省認定の民間資格

基礎知識や実技、学習の成果



授業で取り組み、ドローンの民間資格を取得した生徒＝恵那市明智町、恵那南高校